

東大病院にて婦人科悪性腫瘍でご加療中の方へ

【研究課題】

人工知能による婦人科悪性腫瘍の臨床データを用いた包括的検討
審査番号 2019127NI

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 ※東京大学医学部附属病院
研究責任者 女性診療科・産科/女性外科 曾根献文
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

都立駒込病院、Predicthy 社、都立墨東病院、丸山記念病院、
帝京大学医学部附属病院、公立昭和病院、静岡がんセンター、慶應義塾大学病院

【受託免疫組織染色施設】

株式会社モルフォテクノロジー

【研究期間】

承認日から 2026 年 8 月 31 日

【対象となる方】

2000 年 4 月 1 日から 2024 年 8 月 31 日
上記期間で婦人科悪性腫瘍の診断を受けた患者さん

【研究の目的】

以下の 2 つを研究目的とします。

- ② 上記の婦人科癌の臨床データを用いて、人工知能や統計手法を応用した解析から新たな知見を得る事
- ② 婦人科癌の画像データについて深層学習を用いた解析を行い、新たな診断システム及び治療システムを作る。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査等の臨床データ、手術及び検査画像などのデータ、また各施設で保存している病理組織ブロックから作成した薄切スライドを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

画像データの解析を依頼するために Predicthy 社と共同研究を行います。一部の臨床データ（画像等）の深層学習による解析を Predicthy 社に依頼するため画像データは院外に持ち出しますが、データについては個人情報を匿名化してのちに授受いたします。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの臨床情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において研究責任者である曾根献文が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2023 年 10 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。研究にご協力いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

この研究に関する費用は内視鏡医学研究振興財団、小林がん学術振興財団から助成を受けておりますが、両資金源とも、競争的研究助成において選ばれて助成を受けた助成金であり、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 講師 曾根献文
住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-3815-5411（内線 36961 ） FAX：03-5800-5411
Eメールでのお問い合わせ：ksone5274@gmail.com